

強い権威の下で、人はどれほど残酷になるか。それを知るための有名な実験がある。米国の心理学者ミルグラムが行った通称「アイヒマン実験」だ

◀ 善良な一般人の被験者が、命令を受けて、電気ショックのスイッチを入れる。機械は動いておらず、苦しむ人も演技をしているだけのだが、被験者は知らされていない。徐々に高電圧を指示されるが、実験に協力するための義務感からだろうか、多くが要求に従ってしまう

◀ やめてくれと言われても、絶叫する姿をみても、実に約三分の二の人が最高レベルまで電撃を加えている。浮き彫りになるのは、権威の命令があれば、人は簡単に人間性を捨て去ってしまうという事実だ

◀ 悪質なプレーをした日大アメリカンフットボール部選手の記者会見。無防備な相手へのあのタックルは、やはりけがをさせるためだった。残念ではないが、監督やコーチの強力な権威の下、感情がまひする様子も伝わってきた

◀ ただ、救いはあるだろう。選手の後悔と反省だ。二十歳で勇気のいる会見に臨み、率直に語った。やってしまった後とはいえ、最後は、人間性を失わずに、踏みとどまったようにみえる。おかげで、このスポーツの世界に今後への戒めも残っただろう

◀ 自尊心だろうか、名誉だろうか。「つぶせ」と指示したという人々は何か大きなもの前で人間性を見失っていなかったか。